memorandum

「memorandum」
御代田直樹　短編作品上映
x
音楽家による新作映像のサウンドトラック制作

公演特設サイト: http://magipage.com/prj/memorandum

2016 年 10 月 8 日(土)
昼の部:13 時 30 分開場　14 時 00 分開演
（演奏：Mangrove Kipling、中川裕貴）
夜の部:18 時 30 分開場　19 時 00 分開演
（演奏：slonnon、福井陽介(magi.)）
於: space eauuu

第一部：
「liquid」上映

第二部：
「memorandum」上映
x
サウンドトラック LIVE 録音

第一部　「liquid」上映
東京を拠点に活動する振付家、武智圭佑が主宰する
ノイズ＆ダンス集団「maguna-tech」が上演した
舞台作品を、御代田が脚色・再構成することで
映画作品としてリメイク。デヴィッド・リンチを
彷彿とさせる美しい悪夢が、轟音ノイズと共に
繰り広げられる。
2012 年　彩の国さいたま芸術劇場にて開催された
第七回 DMJ 国際ダンス映画祭、また南米チリで
開催された国際ダンス映画祭にてノミネート。

2011 年　カラー/モノクロ　35 分
監督・編集　御代田直樹
振付家・音楽　武智圭佑(maguna-tech)
出演者　武智圭佑、博美、高橋亮、本原章一、
　　平松歌奈子

第二部　「memorandum」上映
x
サウンドトラック LIVE 録音

音楽家・パフォーマーとして活動していた
福井陽介(magi.)と共に渡欧した御代田がイタリアを
歩きながら、即興で撮り下ろした短編作品。
出会った人、風景、モノを独特の視点で切り取り、
紡ぎあげ、白昼夢的な世界を表現。

2015 年 カラー 20 分

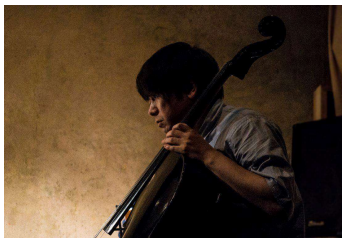
「memorandum」casts
—映画内メインアクト—

中家春奈
埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科ピアノ専攻卒業、上野学園大学音楽・文化学部演奏家コースピアノ専門卒業。6 歳からピアノを始める。上野学園大学在学中に櫻井茂氏が指導する上野学園大学バッハカンタータ合唱団で練習伴奏ピアニストを務める中でチェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバといった古楽器に出会い、バロック音楽やルネサンス音楽といった、ピアノではあまり接してこなかった音楽の魅力に目覚める。これまでに、ピアノを小原孝、川邊千香子、横山幸雄、手塚真人、柳澤美枝子、干野宜大の各氏に師事。チェンバロ・通奏低音を、曽根麻矢子、上尾直毅、根本卓也の各氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバを櫻井茂、武澤秀平の両氏に師事。東京を中心に各地でヴィオラ・ダ・ガンバ奏者、ピアニストとして活動し、韓国でも演奏会に多数出演、チュンチョン古楽音楽祭に出演するなど、国際的に活躍している。現在リヨン国立高等音楽院(フランス)にヴィオラ・ダ・ガンバ専攻として在学し、マリアンヌ・ミュレール氏のクラスで研鑽を積んでいる。

福井陽介(magi.)
2014 年半ばまで首都圏を中心に舞踏やインスタレーション、 CM や映像作品の作曲家・音響・空間演出家として活動しつつ演奏家としてプログレッシヴ・ロックを演奏。また劇団に二年間所属し、演劇を学ぶ。
その後、活動を停止して大阪に移住し、独学で 演奏していた中世・ルネサンス期の楽器である ヴィオラ・ダ・ガンバの修行に励む。
映像作家の御代田直樹とともに 2015 年夏に渡欧、 映像制作の補佐と出演を行った。
http://magipage.com/

—出演ミュージシャン—
昼の部

Mangrove Kipling
フランス・ニューカレドニア出身で、現在はベルリンを 拠点に活動しているソロプロジェクト。 主に日本製のビザールギターにエフェクター等を 組み込んで改造したギターを使いパフォーマンスを行う。
サウンドだけではなく、本名の Laurent Lavolé 名義で 映像・写真作品の制作も行う。 1 年に平均 4 回は必ず日本で滞在制作を行うほどの日本好き。
http://www.mangrovekipling.com/



中川裕貴 Yuki Nakagawa
楽器（チェロ）を持って、電気を使った、作曲・演奏・ 演出活動。その他、劇団･劇作家･ダンサーへの 舞台音楽提供･共同パフォーマンスをいくつか。
2016 年 10 月には自身のバンド「中川裕貴、バンド」の 1st アルバム「音楽と、軌道を外れた」のリリースと、 ソロでのサウンドパフォーマンス公演 「後／戯」＠京都 UrBANGUILD(10/30,31)が控えている。
http://nonpage.exblog.jp/

夜の部

福井陽介(magi.) （プロフィールは上に記載）

slonnon
大阪在住のサウンデツァー。
Light Drawing アーティスト sonsen gocha bacco との ユニット活動や、
コラージュアーティスト 川辺基以との ｍｒｉｃｔ をスタートさせる。
ソロライブでは音声に LED や映像を同期させた パフォーマンスを行っている。
“ヘッドホンで楽しむ音楽と映像のイベント” SHC 主宰。
http://www.slonnon.com/

・・・このプロジェクトを手伝ってくれた人たち・・・

この場を借りて、改めて感謝申し上げます。
(敬称略)

・小川明奈,Federico Vanni, Maddalena Vanni, Nevio Vanni
イタリアでの滞在のサポート、撮影補助、撮影場所のアドバイスと、おいしいイタリアのご飯とお酒、家族との楽しい時間をくれました。
・鈴木徹、Luca Baratto
イタリアの職人たちの町、クレモナに工房を持つ楽器職人お二人です。徹さんが Luca を紹介してくれて、Luca の協力のもと、工房の中でシーンの撮影を行うことができました。
徹さんは現在はクレモナ以外に、アメリカ・日本にて弦楽器制作と指導を行っています。Luca はクレモナを中心に色々な場所で制作を続けています。
https://lucabarattoviolins.wordpress.com/
http://tetsusuzuki.com/
・仲間知子
関東在住のフラウト・トラベルソ奏者。撮影にご協力いただきました。
・Café 新空間
撮影場所の協力をしていただきました。
・della pace 黒澤直子
チラシを置かせていただきました。神戸元町のクオリティの高いギャラリーです。
http://della-pace.seesaa.net
・神戸・元町・はた珈琲店
何種類もあるブレンドが魅力的なペーパードリップ一杯点ての喫茶店。フライヤーを置かせていただきました。
http://www.hata-coffee.com/
・元町映画館
国内から海外まで、商業的なものに限らず映画ファンの求める映画を上映しているミニシアター。フライヤー設置にご協力いただきました。
http://www.motoei.com/
・綿引謙太郎
フライヤーの設置に協力してくれました。
・森口真理
当日スタッフから宣伝まで協力してくれました。
・space eauuu 野村純友
今回の会場提供、また企画について助言をくださいました。
・中島彩
フライヤーデザインに関してたくさんの助言をいただきました。
・四貫島 PORT
企画の福井、受付の森口がそれぞれ珈琲専門店とベーカリーで出店しているシェアショップ。フライヤーを置かせていただきました。
http://shikanjima-port.jp/
・大阪シカク
フライヤーを置かせていただきました。ニッチなジャンルの出版物を中心に、個人制作された色々な本・写真集・詩集、その他雑貨を置いているショップです。
http://uguilab.com/shikaku/
・maglione
大阪市此花区のパン屋・お菓子屋。フライヤーを置かせていただきました。かわいらしく気軽に食べられるパンがそろっています。甘い系統は特におすすめ。
http://maglione9.tumblr.com/
・米子匡司(SjQ, 他)
上映当日の備品を貸し出してくれました。また、誰に音楽を頼んだらよいか、ということについてとてもよく相談に乗っていただきました。
http://sjq.jp/
・宮下昌久
Mangrove Kipling の古い木曽鈴木製のギターを加工・エフェクターなどの取り付けを行ってくれました。
・バーヒロシ
大阪・谷町４丁目にあるバー。フライヤーを置かせていただきました。 今回、演奏で参加した ｓｌｏｎｎｏｎ の相方で、 Light Drawing という手法を使い映像ライブを行う sonsen gocha bacco のお店です。
http://r.gnavi.co.jp/p8z01x1s0000/
・UrBANGUILD
京都にある、先進的な出演者を集めてイベントを行っているライヴハウス。フライヤーを置かせていただきました。月末、10/30,31 には出演者の中川裕貴のソロでのサウンドパフォーマンス公演「後／戯」が行われる場所でもあります。
http://www.urbanguild.net/